

## 令和7年度 学校評価

【評定】 4:とても思う(あてはまる) 3:やや思う(あてはまる) 2:あまり思わない(あてはまらない) 1:全く思わない(あてはまらない)

【肯定率】 評定4と評定3の割合(%)の合計値

【評定平均】 4～1の各評定×割合の平均値

評価領域	評価指標	対象	肯定率	評定平均
教育課程・学習指導	学校は、松山の授業モデルをもとに、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	教職員	100	3.6
		学校関係者	100	3.5
	学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。	教職員	100	3.9
		学校関係者	97	3.7
	学校は、児童生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	教職員	100	3.9
		学校関係者	93	3.5
人権・同和教育・生徒指導	学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童生徒の育成に努めている。	教職員	100	3.6
		学校関係者	100	3.8
	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	教職員	100	3.6
		学校関係者	96	3.4
	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。	教職員	100	3.4
		学校関係者	100	3.6
キャリア教育	学校は、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童生徒を育てている。	教職員	100	3.6
		学校関係者	97	3.4
安全管理	学校は、児童生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	教職員	100	3.9
		学校関係者	97	3.5
保健管理	学校は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童生徒の健康保持・増進に努めている。	教職員	100	3.9
		学校関係者	97	3.5
	学校は、換気や手指衛生等の指導などの基本的な感染症対策を行っている。	教職員	100	3.9
		学校関係者	97	3.6
特別支援教育	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	教職員	100	3.6
		学校関係者	96	3.5
組織運営	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	教職員	100	3.7
		学校関係者	97	3.6
研修	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応に向けて、積極的に研修に取り組んでいる。	教職員	100	3.4
		学校関係者	97	3.6
保護者・地域との連携 情報・提供	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	教職員	100	3.4
		学校関係者	97	3.6
	学校は、学校・学年だよりやホームページ、配信システム等により、積極的に情報を発信している。	教職員	100	3.9
		学校関係者	100	3.8
教育環境	学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	教職員	100	3.7
		学校関係者	100	3.8
幼保小中連携	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	教職員	100	3.3
		学校関係者	100	3.5
	学校は、関係園・校で連携して児童生徒への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。	教職員	100	3.1
		学校関係者	97	3.4
教育目標	学校は、「夢いっぱい、スカッと爽やかな難波っ子」を育てることができている。	教職員	100	3.6
		学校関係者	100	3.7